令和５年度

大学院医工農学総合教育部
博士課程学生募集要項

ヒューマンヘルスケア学専攻

今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本募集要項の内容とは異なる方法で実施することがあります。
変更が生じた場合は、本学ホームページ（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45）に最新の情報を掲載しますので、随時確認してください。

山梨大学
(https://www.yamanashi.ac.jp)

≪アドミッションポリシー≫

大学院医工農学総合教育部　博士課程

＜育成目標＞

研究者もしくは高度な専門技術者として自立して研究活動を行うに必要な深い学識と高度な研究能力並びに高い倫理観を備えた優れた研究者もしくは高度な専門技術者の養成を目指しています。

＜求める能力・人物像＞

基礎的な研究及び独創的な研究を推進し、現在及び未来世代に貢献することに意欲を持った人を求めています。

ヒューマンヘルスケア学専攻

＜育成目標＞

人間を身体・心理・社会的側面から包括的に捉え、ライフステージにおける健康問題からの回復および健康生活の維持・促進を支援することを目的とするヒューマンヘルスケア学にふさわしい実践方法、研究方法、および教育活動の開発・構築に努め、看護学の発展に寄与する人材の養成を目指しています。

＜求める能力・人物像＞

看護・保健・福祉に関し、柔軟な思考で創造的な研究に取り組みたい人を求めています。

＜試験区分別の入学者選抜の基本方針＞

上記の＜求める能力・人物像＞で示す能力等を有する人を評価するため、以下の方法により選抜します。

一般選抜

成績証明書、筆記試験（英語、小論文）、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

社会人特別選抜

本選抜は、看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、出願時に３年以上の看護関連業務の実務経験を有する人を対象に実施しています。成績証明書、筆記試験（英語）、研究計画書、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

目　　次

募集要項

1　募集人員…… 1
2　教育・研究領域…… 1
3　出願資格…… 1
4　出願手続…… 2
5　受験票…… 4
6　選抜方法…… 4
7　合格者の発表…… 5
8　入学手続…… 5
9　授業料…… 5
10　その他の経費…… 5
11　個人情報の取扱い…… 5
12　入学試験における感染症対応…… 6
13　出願書類の原本提出…… 6
14　安全保障輸出管理…… 6
15　その他…… 6

入学案内

1　目的…… 7
2　専攻の内容…… 7
3　構成…… 7
4　授業科目の概要及び担当教員…… 7
5　学位…… 7
6　履修及び研究方法…… 7
7　大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例…… 8
8　長期履修学生制度…… 8
9　入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度…… 8
10　奨学金制度…… 8
11　学生教育研究災害傷害保険…… 8

本学所定の様式

様式１　研究業績調書
様式２　研究計画書（**社会人特別選抜のみ提出**）
様式３　受験及び就学承諾書
様式４　出願資格審査提出書類チェックシート（**出願資格審査の対象となる方のみ提出**）
様式５　入学試験出願資格審査願（**出願資格審査の対象となる方のみ提出**）
様式６　実務期間及び実務内容証明書（**出願資格審査の対象となる方のみ提出**）

※様式は、出願期間前から次のURLよりダウンロードできます。
本学ホームページ ＞ 入試情報 ＞ 大学院入試 ＞ 募集要項
https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45

Web出願利用ガイド

出願期間内に「Web出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

STEP 1

事前準備

◆ インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン・タブレット等

◆ PDFを開くためのアプリケーション（アドビ社の「Adobe Reader」を推奨）

◆ A4サイズの印刷が可能なプリンター
出願書類を印刷する際に必要です。自宅にプリンターがない場合、学校や図書館などの公共施設のプリンターやコンビニエンスストアのプリントサービスを利用してください。

◆「@yamanashi.ac.jp」からの受信可能なメールアドレス

◆ 事前に準備できる出願書類
「修了(見込)証明書」及び「成績証明書」等は、発行に時間がかかる場合がありますので、早めに出身大学等に申請手続してください。
「研究歴証明書」等の本学指定の様式は、出願期間前から本学ホームページよりダウンロードできます。

◆ 市販の角形２号封筒（24cm×33.2cm）

◆ 顔写真のJPEGファイル
３ヶ月以内に撮影した正面上半身、脱帽、無背景、フルカラー、
縦800px × 横600px、ファイルサイズは３MB以内

【適切な顔写真の例】

STEP 2

メールアドレスの登録

Web出願サイト（https://syutugan.yamanashi.ac.jp）にアクセスし、「新規利用者登録」からメールアドレスを登録してください。
登録後すぐにメールが届きますので、本文の案内に従い30分以内に次の手順に進んでください。

【Web出願サイト】

STEP 3

利用者情報の登録 （いつでも登録できます）

画面の案内に従って、個人情報(氏名、住所、電話番号、生年月日など)を登録してください。

STEP 4

出願情報の登録 （出願期間中のみ登録できます）

Web出願サイトの「新規出願」から、画面の案内に従って、出願情報を登録してください。

STEP 5

入学検定料の支払い

Web出願サイトの「検定料の支払い」で、❶～❹から支払方法を選択しお支払いください。

❶クレジットカード、❷コンビニエンスストア、❸金融機関ATM(Pay-easy) 、 ❹ネットバンキング

・クレジットカード以外の支払い方法は、入金確認に２時間程度かかります。（入金が確認されないと次の出願書類印刷に進むことができませんので注意してください。）

・海外からの支払方法はクレジットカードのみです。

STEP 6

出願書類の印刷・作成・提出

Web出願サイト画面右上の「マイページ」の「出願書類印刷」から必要な書類を印刷してください。
【出願書類等チェックリスト(提出不要)】で、出願書類が全て揃っていることを確認後、入試課へ提出してください。
※出願書類の提出方法は、各募集要項を確認してください。

出願が受理されたら出願完了です。受験票の印刷可能通知をお待ちください。

Web出願に関する問い合わせ
山梨大学　教学支援部入試課
☎ 055-220-8046　✉ nyushi@yamanashi.ac.jp

※システム改修等により、登録手順や利用方法が変更になる場合があります。

募 集 要 項

１ 募集人員　　４人（社会人特別選抜を含む。）

２ 教育・研究領域

感染防御学　　保健学　　母性看護学　　高齢者看護学　　公衆衛生看護学

３ 出願資格

次の各号のいずれかに該当する方

（１）修士の学位又は学校教育法第104条第１項に規定する専門職大学院の課程を修了した方に授与される文部科学大臣の定める学位（以下「専門職学位」という。）を有する方、又は令和５年３月までに修士の学位又は専門職学位を取得する見込みの方

（２）外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は令和５年３月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方

（３）外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は令和５年３月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方

（４）我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された方、又は令和５年３月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与される見込みの方

（５）国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第１条第２項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という。）の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された方、又は令和５年３月までに修士の学位に相当する学位を授与される見込みの方

（６）外国の学校、上記（４）の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の２に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する方と同等以上の学力があると認められた方

（７）文部科学大臣の指定した方（平成元年文部省告示第118号）（令和５年３月までにこれに該当する見込みの方も含む）

（８）本学の大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する方と同等以上の学力があると認めた方で、入学の時点で24歳に達している方

（注）１ **希望する指導教員と事前打ち合わせを十分に行った上、出願してください。**

なお、希望する指導教員は別表２「授業科目の概要及び担当教員」(12頁)のヒューマンヘルスケア学特別研究に記載されている教員から選択してください。

（注）２ 上記の（７）又は（８）により入学を志願しようとする方は、事前に出願資格の審査を行いますので、出願資格の審査書類を**令和４年７月28日（木）（必着）**までに教学支援部入試課に提出してください。審査に必要な提出書類は、本学ホームページ＞入試情報＞大学院入試＞募集要項（https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45）からダウンロードできます。

なお、（７）又は（８）に係る本学の大学院における認定は、提出書類の審査にて行います。審査結果は、令和４年８月10日（水）に本人宛に通知します。

（注）３ 社会人特別選抜への出願は、上記の出願資格のいずれかに該当する方で、看護師・保健師・助産師のいずれかの免許を有し、出願時に３年以上の看護関連業務の実務経験を有する方とします。

【受験上及び修学上の配慮を必要とする入学志願者との事前相談】

病気やけが、障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、教学支援部入試課へ申請方法等を照会の上、令和４年７月28日（木）までに、教学支援部入試課へ申請に必要な書類を提出してください。（申請に必要な書類は照会の際お伝えします。）

４ 出願手続

（１）出願方法　**※詳細は、本要項の目次の次頁に掲載の「Web出願利用ガイド」を確認してください。**

次のURLからWeb出願サイトにアクセスし、画面の案内に従って、出願情報等を登録してください。

Web出願サイト　https://syutugan.yamanashi.ac.jp

① 利用者情報・出願情報・顔写真の画像ファイルを登録

↓

② 入学検定料の支払い

↓

③ 出願書類の印刷・作成・提出**【出願期間内必着】**

（２）入学検定料の支払い

入学検定料　30,000 円

・ Web出願サイトの「検定料の支払い」で、①～④から支払方法を選択の上、お支払いください。
①クレジットカード、②コンビニエンスストア、③金融機関ATM（Pay-easy）、④ネットバンキング

・ **クレジットカード以外の支払方法は、入金確認に２時間程度かかります。**（入金が確認されないと次の出願書類印刷に進むことができませんので注意してください。）

・ **海外から出願する場合の支払方法はクレジットカードのみです。**

・ 全ての支払方法について、別途必要な手数料は志願者負担になります。

・ 出願受理後は、いかなる理由があっても、既納の入学検定料は返還できません。

【入学検定料の免除について】

次の災害に被災された方に対し、入学検定料免除の特別措置を行います。

東日本大震災、平成28年熊本地震、平成30年７月豪雨、平成30年北海道胆振東部地震、令和元年台風第15号及び第19号、令和２年４月以降に発生した災害救助法が適用された災害

免除を希望される方は、出願期間開始日までに教学支援部入試課へ照会してください。また、必要書類等の詳細については、本学ホームページ(https://www.yamanashi.ac.jp/examination/3787)を確認してください。

（３）出願書類

・ 出願書類には、各自が準備する書類とWeb出願サイトから印刷して提出する書類があります。

・ **写し(コピー)の提出を認めた書類を除き、原本を提出してください（海外在住者は除く）。**なお、原本を提出できない場合（出身学校等が卒業証明書や成績証明書等を卒業(修了)時に一度発行するだけで、以降証明書を発行していない場合等）は、出願期間開始日までに教学支援部入試課へ相談してください。

・ 出願資格審査が認定された方は、出願資格審査時に提出した書類を再提出する必要はありません。

No	提出書類	一般選抜	社会人特別選抜	摘　　要
1	修了(見込)証明書等	○	○	**・ 本学の修士課程又は博士前期課程を修了した方は不要です。** ・ 出身大学等が作成したものを提出してください。 ・ 出願資格の(２)又は(３)により出願する方は、学位授与証明書等を提出してください。 ・ 出願資格の(７)又は(８)により出願する方は、学部等の卒業証明書を提出してください。
2	成績証明書	○	○	・ 出身大学等が作成し、厳封したものを提出してください。(海外在住の方が電子ファイルで提出する場合は、厳封する必要はありません。) ・ 出願資格の(１)～(６)により出願する方は、学部及び大学院修士課程又は博士前期課程の成績証明書を提出してください。 ・ 出願資格の(７)又は(８)により出願する方は、学部等の成績証明書を提出してください。

3	履歴書	○	○	Web 出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷し、提出してください。
4	修士の学位論文 又は研究業績調書等	○	○	**・修士の学位を有する方** 学位論文の写しを提出してください。 **・修士の学位を有しない方** 【研究業績調書(様式１)※】を提出してください。様式は、本学ホームページからダウンロードの上、使用してください。 なお、【研究業績調書(様式１)※】に記載されている内容を証明する書類を添付してください。
5	研究計画書		○	本学ホームページから【研究計画書(様式２)※】をダウンロードの上、使用してください。
6	免許証の写し		○	看護師、保健師及び助産師の免許証の写し。 (取得しているすべての免許証をＡ４サイズに縮小コピーし、提出してください。)
7	在職期間証明書		○	３年以上の看護関連業務の実務経験について、勤務先が証明したもの(様式は任意)を提出してください。(事前出願資格審査書類様式である【実務期間及び実務内容証明書(様式６)】の使用可。) なお、複数の勤務先が該当する場合は、医学域学務課(電話：055-273-9627)へ照会してください。
8	受験及び就学承諾書 **＊該当する方のみ提出**	○	○	出願時に病院や企業等に勤務しており、入学後も引き続き在職のまま在学を希望する方は、本学ホームページから【受験及び就学承諾書(様式３)※】をダウンロードの上、勤務先の所属機関の長が承諾したものを必ず提出してください。 なお、出願時に病院や企業等に勤務していても、入学後学業に専従する場合は提出する必要はありません。 また、出願時と入学時で勤務先が異なる方、入学後に就職する方は、医学域学務課(電話：055-273-9627)へ照会してください。
9	住民票 **＊国籍が日本国以外の方のみ提出**	○	○	**・日本国内在住の方** 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの）を提出してください。 **・海外在住の方** 旅券の写し（顔写真が掲載されているページ）を提出してください。
10	戸籍抄本 **＊該当する方のみ提出**	○	○	改姓により各証明書等の氏名が異なっている場合は、【戸籍抄本】を提出してください。

(注) NO.８～10の書類は、該当する方のみ提出してください。

※ 本学所定の様式は、出願期間前から次のURLよりダウンロードできます。
本学ホームページ ＞ 入試情報 ＞ 大学院入試 ＞ 募集要項
https://www.yamanashi.ac.jp/admission/45

（４）出願期間

令和４年８月17日（水）～８月23日（火） 16時30分まで 【出願期間内必着】

出願期間内に「Web出願情報の登録」、「入学検定料の支払い」、「出願書類の印刷・作成・提出」の全てを完了してください。いずれか一つでも完了していない場合は、出願を受理することはできません。

（５）出願書類等の提出方法

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」にある【出願書類等チェックリスト(提出不要)】で出願書類が全て揃っているか最終確認してください。

① 日本国内在住の方

Web出願サイトの「マイページ」の「出願書類印刷」から印刷した【封筒貼付票】を市販の角形２号封筒(24cm×33.2cm)に貼付の上、出願書類を封入してください。

郵送する場合は、郵便局窓口から簡易書留速達にて、必ず出願期間内に本学へ到着するように郵送してください。

持参する場合は、出願期間中の**９時から16時30分**(正午から13時を除く)の間に教学支援部入試課窓口に提出してください。(土・日・祝日を除く。)

② 海外在住の方

必ず出願期間内に、必要な全ての提出書類を電子ファイル(PDF)で教学支援部入試課(E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp)へ送信してください。

なお、入学後に出願書類の原本を提出してください。提出方法については、本要項６頁の「13 出願書類の原本提出」を確認してください。

（６）出願書類等の提出先・照会先

教学支援部入試課
〒400-8510　山梨県甲府市武田４丁目４-37
電話：055-220-8046
E-mail：nyushi@yamanashi.ac.jp

【留意事項】

① 出願（Web 出願情報・出願書類等）内容に不備がある場合は、受理しないことがありますので、注意してください。
② 出願受理後は、いかなる理由があっても、出願内容の変更は認めません。(住所等の連絡先の変更は除く。)また、出願書類の返却もできません。
③ 出願内容が事実と相違していた場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
④ 出願手続等に不明の点がある場合は、教学支援部入試課へ照会してください。

５ 受験票

受験票は、Web 出願サイトから各自で印刷し、試験当日に必ず持参してください。

下記の期日までに、Web 出願サイトに登録されたメールアドレスに印刷が可能になった旨をお知らせします。下記期日を過ぎても受験票が印刷できない場合は、入試課へ照会してください。

受験票印刷可能通知：出願期間終了日から３日後（土・日・祝日の場合は直後の平日）までに通知 受験票印刷可能期間：印刷可能通知の受信日から令和５年３月 31 日まで 印　刷　方　法：Web 出願サイト＞マイページ＞受験票 から印刷 （Ａ４サイズの白紙、倍率 100%、カラー印刷)

・ 受験票には、Web 出願サイトに登録された氏名を使用します。
・ 受験票を紛失・汚損等した場合は、Web 出願サイトから再度印刷してください。
・ 試験当日に受験票を忘れた場合は、コンビニエンスストアのプリントサービスを利用し、自身で用意してください。（原則、本学では受験票の再発行は対応しません。）

６ 選抜方法

（１）選抜方法

① 一　般　選　抜　成績証明書、筆記試験（英語、小論文）、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。
② 社会人特別選抜　成績証明書、筆記試験（英語）、研究計画書、口述試験等の結果を総合的に判断して選抜します。

（2）学力検査等

日　　時		試験科目	一般選抜	社 会 人 特別選抜
令和４年９月６日（火）	９：00 ～ 10：00	英　　語	○	○
	10：15 ～	口述試験	○	○
	13：00 ～ 14：00	小 論 文	○	

（備考）１．筆記試験（英語）では、辞書（電子辞書類は除く）の持ち込みを許可します。辞書の種類は問いません。
２．ルーペの持ち込みは禁止します。
３．口述試験は、志望する教育・研究領域について行います。
４．筆記試験（英語）に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。ただし、試験終了時間は変更しません。

（3）試験場
医学部キャンパス看護学科教育研究棟（別図参照）
（試験開始10分前までに、受付を済ませてください。）

7 合格者の発表

日　　時：**令和４年９月13日（火）　午前10時**

発表方法：医学部キャンパス看護学科教育研究棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、本学ホームページ(https://www.yamanashi.ac.jp/examination_list)にも掲載しますが、最終的な確認は合格通知書で行ってください。電話等による合否の照会には応じられません。なお、合格者には合格者発表当日に、合格通知書を発送します。

8 入学手続

（1）入学手続の期日は、令和４年10月５日（水）～10月７日（金）です。

（2）入学料は、282,000 円（予定）です。
入学時に改定されることがあります。また、既納の入学料はいかなる理由があっても返還しません。

（3）入学手続関係書類は、合格通知書とともに発送します。

9 授業料

前期分：267,900 円［年額：535,800 円］（予定）

・ 入学時及び在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新たな授業料が適用されます。
・ 原則口座引き落としとなっています。手続については、別途案内します。

10 その他の経費

学生教育研究災害傷害保険料等の経費が必要です。

11 個人情報の取扱い

本学では、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「山梨大学個人情報保護規則」に基づいて、次のとおり取り扱います。

（1） 出願書類等に記載された個人情報（成績判定に関する情報を含む）は、①入学者選抜（出願処理、選抜実施）、②合格発表、③入学手続業務、④統計調査、⑤今後の入学者選抜方法検討や志願動向の分析、大学教育の改善等に関する調査・研究を行うために利用します。なお、これらの調査・分析結果を公表する際は、個人が特定されないような形に処理します。

（２） 入学者については、知り得た個人情報を①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

なお、上記業務での利用にあたり、一部の業務を本学から当該業務委託を受けた業者(以下、「受託業者」という。)において行うことがあります。この場合、受託業者に対して、委託した業務を遂行するために必要となる範囲で、知り得た個人情報の全部又は一部を提供します。

※ 個人情報及びプライバシー情報保護のため、本選抜実施において取得した個人情報は、それが記載された書類及びデータ自体のいずれの形においても、厳重に秘匿され、上記の目的以外での利用は行わないことに加え、法令等により開示を求められた場合等を除き、第三者に開示することもありません。

12 入学試験における感染症対応

本学では、入学試験当日において、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水痘など）に罹患して治癒していない場合は、他の受験者や監督者等への感染のおそれがあるため受験できません。

なお、受験できない場合の追・再試験や別室受験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いませんので、万全の状態で試験当日を迎えられるよう、体調管理には十分ご注意ください。

13 出願書類の原本提出

出願資格審査申請書類及び出願書類を電子ファイル(PDF)で提出した方は、入学後に原本を提出してください。なお、PDF書類データに改ざん等の虚偽の内容が発覚した場合、入学許可自体を取り消し、抹籍処分にすることがありますので、注意してください。

提出書類：出願資格審査申請書類及び出願書類の原本

提出場所：医学部キャンパス　医学域学務課教務グループ窓口（８時30分～17時15分の間 *正午～13時除く）

提 出 日：本学への登校初日から１週間以内(厳守)

14 安全保障輸出管理

本学では、「外国人為替及び外国貿易法」に基づき、「国立大学法人山梨大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際して厳格な審査を実施しています。規制事項に該当する場合は、希望する教育を受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

15 その他

Web 出願サイトにおいて、「志願者連絡先」は出願時から入学手続完了時までの間、本学からの照会や通知等を志願者本人が確実に受信できる住所と電話番号及びメールアドレスを登録してください。なお、出願後、「志願者連絡先」に変更があった場合は、教学支援部入試課へ連絡してください。

入 学 案 内

1 目的

ヒューマンヘルスケア学専攻は、あらゆるライフステージにある人々が、健康で、自律し、自己実現するためのケアについて、新しい理論の構築とそれに基づく看護実践方法を探究します。

そのため、看護学・医学・工学・教育人間科学の融合した教育・研究の機関として、高度な専門職として研究・教育能力の育成と知的資源の提供を行うことを使命とします。

2 専攻の内容

人間を身体・心理・社会的側面から包括的に捉え、看護・保健・医療・福祉に対応したヒューマンヘルスケアとしての研究を推進します。小児・青年・成人・高齢者までのすべてを対象とし、ヒューマンヘルスケアにかなった研究方法を探求するために、医学、工学、教育人間科学の諸学と連携をとりながら、看護実践方法・教育活動・看護政策などの実践理論を導き出すための研究を行います。人々の健康な生活を維持・促進・回復を支援する看護実践方法や教育活動を開発・展開、保健・医療・福祉政策のあり方を探求する教育者・研究者・実践者を育成します。

3 構成

（1）修業年限３年を標準とする博士課程です。

（2）授業科目及び単位数は、別表１のとおりです。

4 授業科目の概要及び担当教員

別表２のとおり

5 学位

（1）学位の名称は、博士(看護学)とします。

（2）博士の学位は、大学院に３年以上在学し、16 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格した方に授与します。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた方は、大学院に１年以上在学すれば足りるものとします。

6 履修及び研究方法

＜履修基準＞

科目区分	必修・選択の別	授業区分	必要単位数
大学院共通科目	必　修	講　義	２単位
医学・看護学共通科目	必　修	講　義	２単位
専門科目	選択必修	講　義	２単位
	必　修	特別演習	２単位
	必　修	特別研究	４単位
専門科目及び関連科目	選　択	講　義	４単位
合　計			16 単位以上

（注）選択必修は研究テーマに関連するものとする。

＜研究方法＞

特別研究では、指導教員のもとで、ヒューマンヘルスケアとしての看護学の研究課題を探求し、独創的で実践的な成果を生みだすための研究を行います。

7 大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例

本学博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻においては、大学院設置基準第 14 条に定める「教育方法の特例」を適用し、有職者が離職することなく修学することが可能となるよう、昼夜開講します。

また、夜間等の開講では、月曜日から金曜日までの 18 時 10 分から 21 時 20 分、土曜日及び夏季・冬季の休業期間中に開講する講義等を履修でき、研究指導も受けられます。

8 長期履修学生制度

この制度は、職業を有していること等の理由により修学時間が制約される方のために、標準修業年限(３年)を超えて一定期間(最長６年)にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了することができる制度です。履修すべき総単位数は、３年で修了するものと同じですから、年間の時間的負担は相当軽減されることになります。

本制度に関する照会は、医学域学務課教務グループ大学院担当(電話：055－273－9627)までお願いします。

9 入学料及び授業料の免除制度、入学料徴収猶予制度

（１）入学料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の全額又は半額を免除することがあります。

① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方

② 入学前１年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

（２）入学料徴収猶予

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、入学料の徴収を猶予することがあります。

① 経済的理由により入学料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方

② 入学前１年以内において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、入学料の納入が著しく困難であると認められた方

（３）授業料免除

次のいずれかに該当する方は、本人の申請に基づき、選考のうえ、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

① 経済的理由により授業料の納入が著しく困難であり、かつ、学業優秀と認められた方

② 授業料の納入前６ヶ月以内(入学時にあっては入学前１年以内)において学資負担者が死亡し、又は入学する方若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け、授業料の納入が著しく困難であると認められた方

10 奨学金制度

日本学生支援機構の奨学金制度があります。貸与額は、第一種(無利息)は、博士課程(博士後期課程)が月額 80,000 円、122,000 円、第二種(利息付)は、月額 50,000 円、80,000 円、100,000 円、130,000 円、150,000 円より選択になります。(2022 年度)

その他の奨学金制度もあります。詳細については医学域学務課学生グループ(電話:055－273－9346)へ照会してください。

また、本学では、経済的負担の軽減を図り、学業を奨励することを目的とする学術研究奨励金制度を実施しています。詳細については、医学域学務課学生グループ（電話：055－273－9346)へ照会してください。

11 学生教育研究災害傷害保険(任意加入)

学生が教育研究活動中及び通学中に受けた災害・傷害に対し、その被害救済を目的とする互助共済制度です。保険料は３年間で 4,150 円です。

別表１

授業科目及び単位数

（参考：2023 年度予定）

科目区分	授　業　科　目　名	履修年次	単位数		担当教員名
			必修	選択	
大学院共通科目	科学者倫理学	1	1		黒澤　尋教授 他
	医工農総合特論	1	1		黒澤　尋教授 他
	ジョブ型研究インターンシップ★	2		1	
医学・看護学共通科目	医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ	1	1		山縣然太朗教授　横道洋司准教授
	生命倫理学特論	1	1		山縣然太朗教授　鈴木健文教授 石黒浩毅特任教授
専門科目	保健看護疫学特論	1		1	宮村季浩教授
	基礎看護学特論	1・2		※2	山田章子准教授
	臨床看護学特論	1・2		※2	谷口珠実教授　川端愛准教授
	母性看護学特論	1・2		※2	小林康江教授
	小児看護学特論	1・2		※2	阿久澤智恵子准教授
	高齢者看護学特論	1・2		※2	谷口珠実教授　牧野公美子准教授
	国際保健・看護学特論	1・2		※2	宮本和子教授
	健康人間学特論	1・2		※2	田辺文憲教授
	生活健康学特論	1・2		※2	宮村季浩教授
	精神保健看護学特論	1・2		※2	坂井郁恵教授
	公衆衛生看護学特論	1・2		※2	神崎由紀教授
	バリアフリーデザイン学特論	1・2		1	齊藤成彦教授　吉田純司准教授
	ユニバーサルデザイン学特論	1・2		2	井坂健一郎教授
	ヒューマンヘルスケア学特別演習	2・3	2		田辺文憲教授（感染防御学） 宮村季浩教授（保健学） 小林康江教授（母性看護学） 谷口珠実教授（高齢者看護学） 神崎由紀教授（公衆衛生看護学）
	ヒューマンヘルスケア学特別研究	2・3	4		田辺文憲教授（感染防御学） 宮村季浩教授（保健学） 小林康江教授（母性看護学） 谷口珠実教授（高齢者看護学） 神崎由紀教授（公衆衛生看護学）
関連科目	応用生体防御学特論			2	幸田　尚教授
	国際環境技術特論			2	西田　継教授 石平　博教授　他
	食品加工・栄養学特論			2	望月和樹教授　舟根和美教授

（注）1　科学者倫理学、医工農総合特論、医療データ解析・臨床疫学特論Ⅰ、生命倫理学特論、ヒューマンヘルスケア学特別演習、ヒューマンヘルスケア学特別研究が必修科目である。

2　※印は選択必修科目で研究テーマに関連する特論２単位を修得しなければならない。

3　特別演習・特別研究は、指導教員が担当する。

4　『ジョブ型研究インターンシップ★』は修得しても、修了に必要な単位数に含めることは出来ない。

5　本募集要項に掲載している授業科目は、変更になる場合がある。

別表２

授業科目の概要及び担当教員

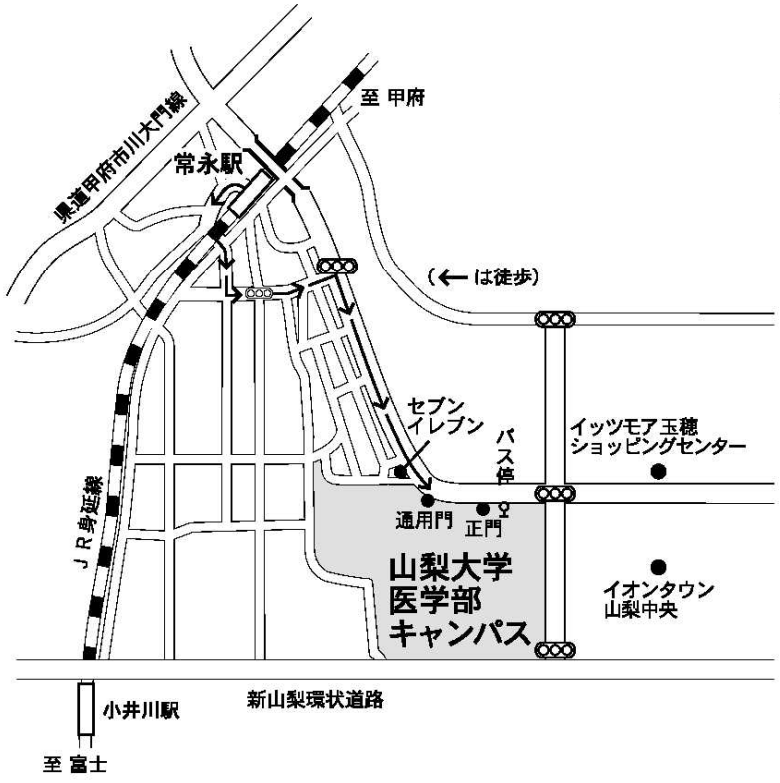
（参考：2023 年度予定）

授業科目名	授 業 科 目 の 概 要
科学者倫理学	（黒澤尋教授 他） 科学の健全な発展に貢献するためには、科学研究のあるべき姿や誠実な科学者として身につけておくべき心得を認識することが大切である。また現代社会では国際的に通用する高い倫理性とリスクに対する適切な対応が求められている。本講義では、責任ある高度専門職業人ならびに科学者として求められる研究倫理を涵養するために技術者・研究者倫理等について講義する。過去に科学者倫理を問われた国内外の事例を紹介するとともに、科学研究を進める上で重要な研究データの適切な取扱い方、科学論文作成上の注意点等の研究不正防止に関わる具体的事項や社会に対する成果発信方法について説明し、これらを通じ研究規範意識を徹底する。本科目は、全学的な体制（理事、副学長が授業を担当)により実施する。
医工農総合特論	（黒澤尋教授 他） 大学院医工農学総合教育部においては、「高い倫理観と学際的な知識と国際的視野を持ちながら、深い学識と高度な研究能力を備えた研究者もしくは高度専門職業人の養成」を人材育成目標に掲げている。本講義では、医工農の学際的な知識を身につけるとともに、研究者や高度専門職業人にとって必要な知的財産管理に関する事項を学ぶ。人類にとって普遍的な価値を持つ「食と健康」「生命と環境」「医療と技術」に関する講義を通して、医学、工学、農学の各分野における最先端の研究動向や関連産業の状況を理解する。また、企業における事業戦略や研究開発戦略を意識して、研究・開発した成果を知的財産として適切に管理するための素養を身につける。これにより、多様化する社会の課題に柔軟に対応できる力（社会人力）を涵養する。
ジョブ型インターンシップ	（担当教員なし） ジョブ型研究インターンシップ推進協議会が実施する長期間（2ヶ月以上）かつ有給の研究インターンシップに参加することにより、自らの専門性を客観的に観ることで進路の可能性を広げるとともに、今後拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成することを目標としている。
医療データ解析・ 臨床疫学特論Ⅰ	（山縣然太朗教授　横道洋司准教授） 疫学は人を対象とした医学研究の研究手法であるが、多くの研究領域における人を対象とする研究手法として有用である。本講義では健康対策の科学的根拠創生のための疫学研究について、研究デザイン、データ収集、統計解析、結果の解釈に関する知識と技術を身に付けることを目的とする。仮説検証型の研究デザイン・統計解析と共に、最先端のビッグデータ解析、縦断データ解析を演習を交えて学習する。また、医学研究における倫理的、法的、社会的側面についてディベート等で見識を広め、社会から信頼される研究を実施する力を涵養する。
生命倫理学特論	（山縣然太朗教授　鈴木健文教授　石黒浩毅特任教授） 人の命に関する倫理的諸課題を主に医の倫理の側面から学ぶ。1970 年代の米国のバイオエシックスの概念はもとより、緩和ケア、安楽死、脳死、遺伝子医療、再生医療など生命倫理学の歴史から現在課題までをテーマにして、基本知識を得た上で、ミニディベートなどにより意見を交わすことにより、多様な意見を理解し、自らの考えを深めることを目指す。加えて、医学研究に関する倫理についても歴史的背景を理解し、国内外の研究倫理指針について学び、実践できる技術を涵養する。

保健看護疫学特論	（宮村季浩教授） 看護教育の一環として学部学生に対し授業が行われている疫学では、感染症に対する宿主・病因・環境モデルから、慢性疾患に対する危険因子モデルまでが国家試験対策として中心に扱われており、現代のミクロレベルでの分子疫学・ゲノム疫学、マクロレベルでの社会疫学という領域への広がりについて触れられることは少ない。また疫学がこのような対極的な領域へと発展した結果、患者一人一人を生活者として捉えることが難しくなっていることが指摘されており、患者ニーズを第一に考える看護学と疫学が共有する理論を新たに創造し高める機会が突破口になると考えられている。本講義では、疫学的なパラダイムの変化をふまえて、近年提唱されているケアニーズを中心とした看護疫学の概念を理解し、人の健康を生活の視点からどのように捉えていくのか、これからのヘルスケアのあり方について探究していく。
基礎看護学特論	（山田章子准教授） さまざまなヘルスレベルにある対象に対して行われる、看護に関する科学的知見を論述する。看護技術や看護実践の根拠とその効果を検証するための多様な技法や評価指標について学び、評価できる能力を培う。もしくは、危機的状態にある患者および家族を理解し、看護実践を行う上で基盤となる概念や理論を探求する。また危機的状態にある患者の生体反応を学び、人としての尊厳を保持し、患者に対する包括的ケアについて考察する。
臨床看護学特論	（谷口珠実教授　川端愛准教授） 医療の現状を国内外の研究から広範にとらえ、臨床実践における身体的、心理社会的、スピリチャルな課題を多角的に吟味するとともに、対象者の健康の回復、維持、促進に貢献しうる援助を展開する方法を探求する。
精神保健看護学特論	（坂井郁恵教授） 精神疾患患者と家族の歴史の変遷と社会的背景について十分理解した上で、彼らの生き方を支えるための援助を探究する。また、多様な場における精神的問題をもつ人々への援助、健康な人々の精神的健康の維持・増進に寄与する看護実践について考える。
母性看護学特論	（小林康江教授） 社会の変化、とりわけ生活環境が変化している中で、女性の健康、ライフスタイルの獲得、妊娠から産後までの女性やとりまく人々などに関心を持ちながら、社会や家族単位における女性や子ども、その家族の理解と援助に焦点をあてる。また、産科医療や地域母子保健と関連させた、女性の健康と産むこと･育てることへの看護の役割や医療基盤についても考える。
小児看護学特論	（阿久澤智恵子准教授） 少子化に伴い、小児科における疾病構造の変化および育児力の低下に伴う育児支援が課題となっている。疾患や障害のある子どもおよび家族を子どもの発達過程を踏まえつつ長期的かつ地域社会的に支援する方法を探究する。また、小児看護実践に関する最近の課題を明らかにし、小児医療・地域母子保健における看護の役割と連携について方法論を探求する。
高齢者看護学特論	（谷口珠実教授　牧野公美子准教授） ヒューマンヘルスケアの視点から、多様な障害をもつ高齢者の生活の質を向上させる諸問題と課題の分析、生活の自立のための援助方法を探究する。福祉・教育などの諸学の研究成果を活用し、高齢者とその家族の健康を維持・促進させるための看護介入、高齢者に対するヘルスケアの専門職としての役割・機能、およびその看護実践・看護介入評価などの研究方法について論述する。
国際保健・看護学特論	（宮本和子教授） 主として発展途上国の健康課題を対象とし、その解決のために看護が果たす役割と課題を検証する。世界情勢は複雑であり、人々の暮らしと健康を守るためには、保健医療のみでなく様々な分野からの取り組みが必要である。その中で看護はどのように貢献できるのかを様々な角度から考察していく。

健康人間学特論	（田辺文憲教授） 人間を身体・心理面から包括的に捉えて、医療・看護・保健・福祉活動を展開する基盤となる科学について論ずる。特に、人間を免疫防御面で捉え、健康維持・増進の過程を医学・心理学の両面から科学的に論述する。
生活健康学特論	（宮村季浩教授） 少子・高齢化に伴うあらゆるライフステージの人々の抱える健康問題に着目し、人々が各ライフステージに応じた自己管理行動がとれるような保健教育活動の開発・展開について論述する。
公衆衛生看護学特論	（神崎由紀教授） 地域で生活している様々な年代・健康状態にある人々が、主体的に健康や生活の質を維持・向上していけることを目指し、対象者の生活を継続的・包括的にとらえた支援について探求する。また、必要な社会資源の開発や組織育成など、地域ケアシステムの向上に寄与するための看護職の役割や機能について考究する。
バリアフリーデザイン学特論	（齊藤成彦教授　吉田純司准教授） 主に高齢者や身体障害者にとってやさしい道路や公共・社会福祉施設など、バリアフリーを重視したインフラの設計・施工・維持・管理に対する研究的取り組みについて詳述する。
ユニバーサルデザイン学特論	（井坂健一郎教授） 人間の健康にとって、環境特に視覚面から与える影響は大きい。人間の健康生活と色彩・自然・造形などが心理面・健康面へ与える影響・効果について論述する。
ヒューマンヘルスケア学特別演習	（感染防御学：田辺文憲教授） （保健学：宮村季浩教授） （母性看護学：小林康江教授） （高齢者看護学：谷口珠実教授） （公衆衛生看護学：神崎由紀教授） ヒューマンヘルスケア学は、豊かな社会にあるあらゆるライフステージの人々が、健康で、自律し、自己実現するために、新しい理論の構築とそれに基づく看護実践方法を開発する。その方策として、倫理的な判断に基づいて、看護の観点から現状を批判する。本演習は、あらゆるライフステージにある人間をホリスティックに捉え、看護を基盤とし、医療・保健・福祉・教育の諸学の成果を活用して、ヒューマンヘルスケアとしての看護実践のあり方、看護職の育成、看護政策、他職種と連携・協働の課題を明らかにする。そのために、医学・工学・教育人間科学領域と連携して、諸学の研究方法を批判的に吟味し、ヒューマンヘルスケアとしての看護の特徴に対応した研究方法を検討するための演習を行う。
ヒューマンヘルスケア学特別研究	（感染防御学：田辺文憲教授） （保健学：宮村季浩教授） （母性看護学：小林康江教授） （高齢者看護学：谷口珠実教授） （公衆衛生看護学：神崎由紀教授） あらゆるライフステージにある人々が、健康で、自律し、自己実現に向かうための、ヒューマンヘルスケアとしての看護実践理論を導くための研究を行う。そのために、人間の特徴をホリスティックに捉え、看護・医療・保健・福祉・教育の諸学を基盤とし融合しつつ、個の尊重と倫理的判断に基づいた、ヒューマンヘルスケアにふさわしい研究方法を開発する。人間の健康維持・増進、また生活支援に関する諸問題について多角的に分析し、看護学のみならず、医学・工学・教育人間科学領域と連携して、ヒューマンヘルスケアの視点から問題を見出す。ヒューマンヘルスケアとしての看護学の研究課題を探究し、独創的で実践的な成果を生みだすための研究を行う。

山梨大学医学部キャンパス周辺図



山梨大学医学部
〔〒409－3898 山梨県中央市下河東1110〕

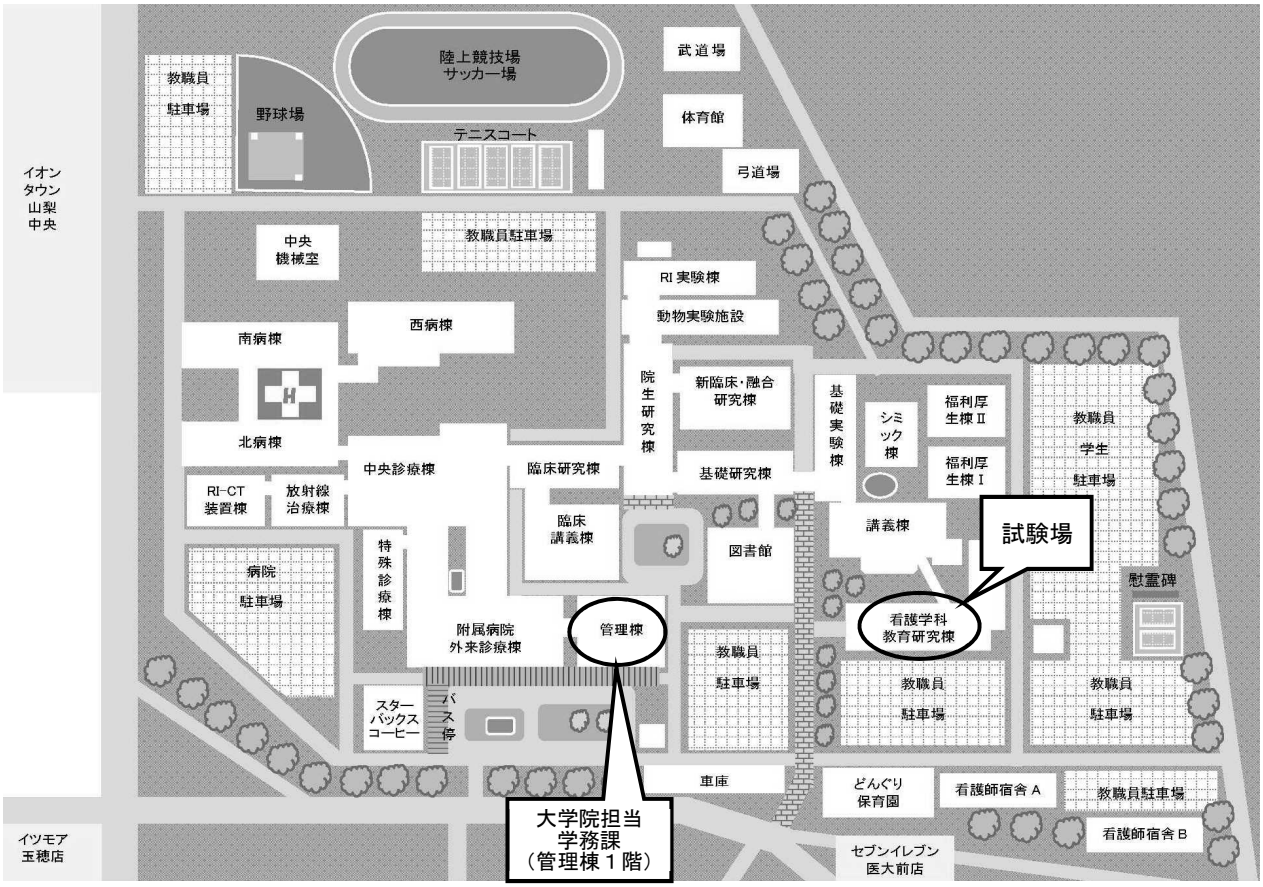
（甲府方面から）
○ＪＲ利用
甲府駅から
身延線上りに乗車。(所要時間約20分)
常永駅下車、徒歩約15分。

○バス利用
甲府駅南口バスターミナルから
「山梨大学医学部附属病院」行きに乗車。
「山梨大学医学部附属病院」にて下車。
(所要時間約30分)

（富士方面から）
○ＪＲ利用
富士駅から(所要時間約２時間)
身延線下りに乗車。
常永駅下車、徒歩約15分。

(注意)
1．常永駅には特急は停車しません。
2．駐車場は用意してありません。
3．電車、バスの本数は1時間に1～2本程度です。

山梨大学医学部キャンパス構内案内図



本学所定の様式

博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
様式１

※受験番号

研　究　業　績　調　書

氏　名		備考	※

著書、学術論文、学会発表、その他	発行、発表の年月	出版社、掲載雑誌、発表学会等の名称	概　　要 （業績について簡潔に記入してください。）

注１．記載内容を証明する書類（学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）を必ず添付してください。

注２．※印欄は大学側で記入します。

博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
様式１

※受験番号

記入例

研　究　業　績　調　書

氏　名		備考	※

著書、学術論文、学会発表、その他	発行、発表の年月	出版社、掲載雑誌、発表学会等の名称	概　　要 （業績について簡潔に記入してください。）
1. 著書			
○○○○○○	2017 年 4 月	○○出版社	
2. 学術論文			
○○○○○○	2016 年 11 月	○○学会誌	
（受験者氏名、共著者氏名）		（Vol.　No）	
3. 学会発表			
○○○○○○	2015 年 12 月	○○学会	
4.　その他			

注１：記載内容を証明する書類（学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）を必ず添付してください。

注２：※印欄は大学側で記入します。

博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻【社会人特別選抜】
様式２

※受験番号

研　究　計　画　書

氏　名		備　考	※

（日本語の場合は 1,000 字以内で、英語の場合は 500words 以内で記載してください。）

注：※印欄は大学側で記入します。

博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
様式３

受験番号	※

受験及び就学承諾書

山梨大学長　殿

このたび、入学志願者＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿が貴大学院医工農学総合教育部博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻を受験することを承諾します。

なお、同志願者が貴大学院に入学した場合は、在職したまま就学することを承諾します。

年　　月　　日

機関名・職名：

氏　　名：　　㊞

注１：出願時に病院や企業に勤務しており、入学後も引き続き在職のまま在学を希望する方は必ず提出してください。なお、出願時に病院や企業に勤務していても、入学後学業に専従する場合は提出する必要はありません。また、出願時と入学時で勤務先が異なる方、入学後に就職する方は、医学域学務課(電話：055-273-9627)へ照会してください。

注２：※印欄は大学側で記入します。

博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
様式４

※受験番号

本募集要項１頁の「３出願資格」の（7）又は（8）により入学を志願する方のみ、事前に出願資格の審査を行いますので、下記の書類を提出してください。

大学院入試出願資格審査提出書類チェックシート（要提出）

ふり　がな 氏　名	

事前の資格審査に必要な提出書類		部数	チェック欄
1	入学試験出願資格審査願（様式５）	1部	□
2	最終学歴の卒業(修了)証明書（見込みも含む）	1部	□
3	最終学歴の成績証明書	1部	□
4	提出書類チェックシート（本書類）	1部	□
該当者のみが提出する書類			
5	実務期間及び実務内容証明書（様式６） ・職歴のある方は提出してください。	1部	□
6	研究業績調書（様式１） ・研究業績がある方は提出してください。	1部	□
7	研究業績調書に記載されている内容を証明する書類 （学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム等(コピー可)）	各1部	□
8	戸籍抄本 ・改姓により各証明書等の氏名が異なる場合は、提出してください。	1部	□
9	住民票又は旅券の写し　＊国籍が日本国以外の方 ・日本国内在住の方 住居地の市区町村長が交付する住民票(在留資格及び在留期間が明記されたもの)を提出してください。 ・海外在住の方 旅券の写し（顔写真が掲載されているページ）を提出してください。	1部	□

注：※印欄は大学側で記入します。

博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
様式５

受験番号（大学側で記入します）

山梨大学大学院医工農学総合教育部博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
入学試験出願資格審査願

ふりがな 氏　　名		生年月日	年　　月　　日
希望する 指導教員		志　望　す　る 教育・研究領域	

学　　歴	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	
職　　歴	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	
	年　月　日 ～ 年　月　日	

研究業績等 （学位取得を希望する動機となった研究業績等を記入）	
免許・資格	
現　住　所	（〒　　－　　） 電話：　　－　　－　　E-mail：

※　希望する指導教員欄：事前打合せを十分行った上、記入してください。
※　学歴欄：高等学校以降全ての学歴を記入してください。
※　職歴欄：職歴のある方は、「実務期間及び実務内容証明書(様式６)」を添付してください。
※　研究業績等欄：研究業績のある方は記入してください。なお、記入欄が足りない場合は、別用紙を使用の上、記入してください。また、「研究業績調書(様式１)」及びその記載内容を証明する書類（学術論文等の別刷、出版物、学会のプログラム・抄録等（コピー可））を必ず添付してください。
※　最終学歴の卒業(修了)証明書(見込みも含む)及び成績証明書を添付してください。

博士課程ヒューマンヘルスケア学専攻
様式６

※受験番号

実務期間及び実務内容証明書

氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日　昭和・平成　　年　　月　　日

職　　名	
在職期間	年　　月　　日　～　　年　　月　　日
職務内容 （詳細に記入願います）	
機関名・職名 氏　　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印	

注：※印欄は大学側で記入します。